



財務ダッシュボードに欠かさない7つの戦略

Mike Crook

Tableau ファイナンスアナリティクスディレクター

はじめに

優れた財務ダッシュボードには、あらゆる企業で大きなインパクトを生み出すパワーがあります。企業の重大な意思決定にインパクトと情報をもたらす重要なレポートの作成者にとって欠かせないのは、データリテラシーのレベルにかかわらずビジネスユーザーのニーズに応えるように、提供する分析結果とレポートを慎重に作り上げることです。優れたデザインの財務ダッシュボードは、財務部門はもちろん社内の最前線の社員や重役にも、必要とされている最新の信頼できる分析結果を必要とときに理解しやすい形で提供することができます。

Tableau の財務部門は、Tableau very early days of our product. そうしたユーザー向けにダッシュボードをデザインしてきました。そしてその過程で、財務部門でもその外でも普及の拡大に役立つダッシュボード戦略をいくつか見出してきました。そのテクニックを、関係者に必要な安全で「信頼できる情報源」の構築、データドリブンな意思決定の支援、会社にとって重要なビジネス上の課題への対処にご活用ください。

目次

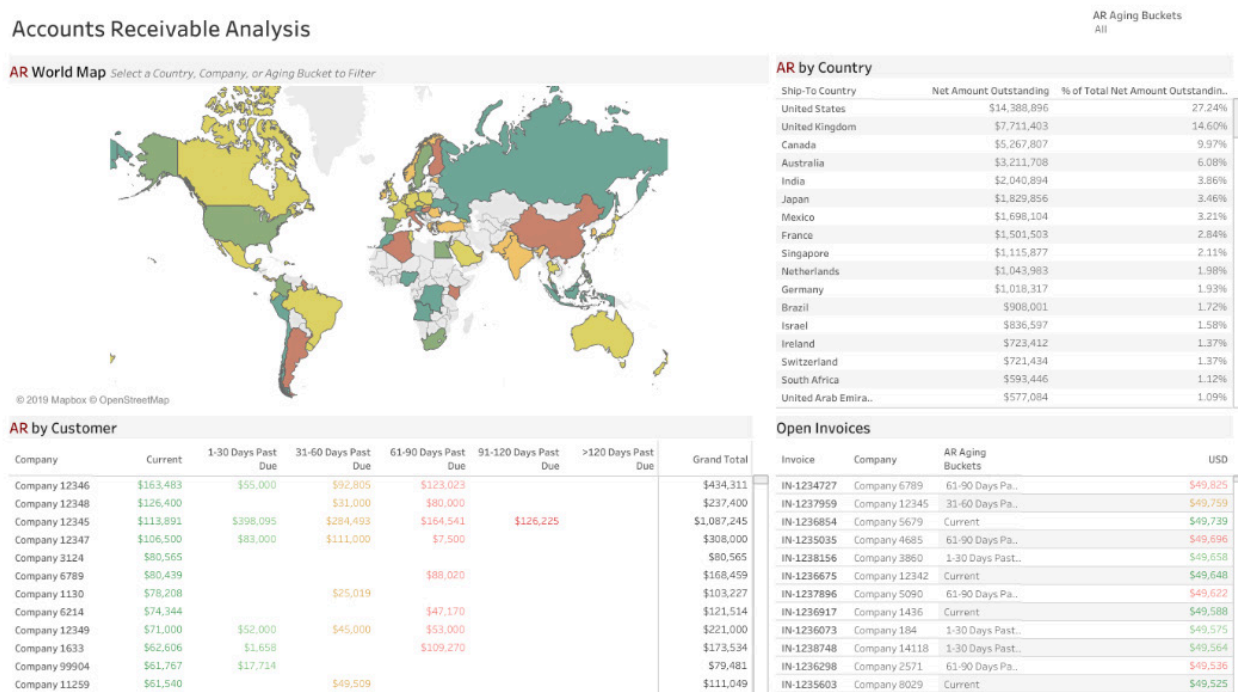
| | |
|---|----|
| はじめに..... | 2 |
| 1.必要な場合はクロス集計を提示しつつ、徐々に使わないようにする..... | 3 |
| 2.親アカウントやコストセンターから階層をドリルダウンできるようにする..... | 4 |
| 3.財務計画データと実績を1つのビューにまとめる..... | 5 |
| 4.予算、実績、予測値の間の差異を視覚化する..... | 6 |
| 5.細かいデータに掘り下げる..... | 7 |
| 6.安全な共有、サブスクリプションやデータドリブンアラートの設定..... | 9 |
| 7.コンテンツのブランディングと信頼構築のためのスタイルガイドを作成する..... | 10 |
| その他のリソース..... | 12 |

1.必要な場合はクロス集計を提示しつつ、徐々に使わないようにする

財務プロフェッショナルの多くはスプレッドシートの形式に慣れており、スプレッドシートを使い続けたいと考えています。また、数値の小数第4位以降まで見たい、ある方法で数値に色を付けたいなどというニーズも持っています。このようなユーザーを獲得するために、求められる形式を利用することができる、クロス集計を含めたダッシュボードを作成しましょう。つまり、Tableau や高度な分析環境に慣れていない関係者を、理解しやすい視覚的な形式で、信頼できる具体的な数字を示すダッシュボードに触れさせるということです。

ダッシュボードのチャートやグラフはクロス集計のフィルターとして使えるので、ユーザーはダッシュボードを探索しながら自分の操作が及ぼすインパクトをすぐに見ることができます。短期的に見るとこのテクニックには若干の画面スペースが必要ではありますが、長期的には普及の拡大につながります。ダッシュボードへの信頼が高まるにつれ、このテクニックを使わずに済むようになります。ユーザーが[参照元データを表示する](#)方法に慣れれば、最終的にはドリルダウン可能なビューに数字を埋め込むことになります。

下の[売掛 \(AR\) ダッシュボード](#)は、チャートとグラフを売掛データのフィルターとして使った財務ダッシュボードの好例です。



ダッシュボードでフィルターアクションを設定する方法を学ぶには、[このリソースページ](#)をご覧ください。

2. 親アカウントやコストセンターから階層をドリルダウンできるようにする

財務ダッシュボードを作成する場合、ソースシステムのデータの準備と集計で手作業が多く発生して貴重な時間を取られてしまうことがあります。このプロセスに時間がかかると、多くの場合データの集計が終わるころには数値が古くなるうえ、その後分析で変更や更新を行えるようにする柔軟性も低くなってしまいます。この問題は、[Tableau Desktop](#) や [Tableau Prep](#) でデータを結合すると解決でき、さらにはプロセスを自動化して時間を短縮できる可能性もあります。

アカウント ID をその親アカウント ID やコストセンターと連携させると、実績と予測値の比較分析に必要なレベルに、素早くデータを集計することができます。それと同時に財務部門は、集計された数値に影響を与えている仕訳帳の個々の数値にまでドリルダウンし、差異の原因を特定できるようになります。

以下の[損益計算書ダッシュボード](#)ではこのようなドリルダウンが可能になっています。関係者は同じ場所で、ニーズに合わせて最も要約した形でも詳しい形でも損益計算書を見ることができます。

Income Statement (YTD)

| | | | | Q1 | | | | 2017 Q2 | |
|--------------------|-------------|-------------|-------|--------------|--------------|---------------|------------|--------------|--------------|
| | | | | Actual | Forecast | Variance | Variance % | Actual | Forecast |
| Income | Other | Other | 10000 | \$64,703,410 | \$90,042,000 | \$25,338,590 | 28.1% | \$78,999,218 | \$90,042,000 |
| | Total | | | \$64,703,410 | \$90,042,000 | \$25,338,590 | 28.1% | \$78,999,218 | \$90,042,000 |
| Cost of Goods Sold | Other | Other | 20000 | \$3,881,645 | \$5,502,000 | \$1,620,355 | 29.5% | \$5,269,836 | \$5,502,000 |
| | Total | | | \$3,881,645 | \$5,502,000 | \$1,620,355 | 29.5% | \$5,269,836 | \$5,502,000 |
| Expense | Development | Development | 31000 | \$14,704,446 | \$13,367,000 | (\$1,337,446) | -10.0% | \$16,362,335 | \$14,875,000 |
| | | | 32000 | \$107,571 | \$98,000 | (\$9,571) | -9.8% | \$97,254 | \$88,000 |
| | | | 33000 | \$85,399 | \$78,000 | (\$7,399) | -9.5% | \$24,679 | \$22,000 |
| | | | 34000 | \$81,880 | \$75,000 | (\$6,880) | -9.2% | \$97,706 | \$89,000 |
| | | | 35000 | \$175,863 | \$160,000 | (\$15,863) | -9.9% | \$284,453 | \$258,000 |
| | | | 36000 | \$7,969 | \$7,000 | (\$969) | -13.8% | \$5,277 | \$5,000 |
| | | | 37000 | \$570,789 | \$519,000 | (\$51,789) | -10.0% | \$364,180 | \$331,000 |
| | Marketing | Marketing | 31000 | \$2,038,408 | \$1,853,000 | (\$185,408) | -10.0% | \$2,227,197 | \$2,024,000 |
| | | | 32000 | \$43,820 | \$40,000 | (\$3,820) | -9.5% | \$30,810 | \$29,000 |
| | | | 33000 | \$66,581 | \$61,000 | (\$5,581) | -9.1% | \$72,104 | \$66,000 |
| | | | 34000 | \$154,588 | \$140,000 | (\$14,588) | -10.4% | \$408,810 | \$372,000 |
| | | | 35000 | \$240,193 | \$219,000 | (\$21,193) | -9.7% | \$397,824 | \$362,000 |
| | | | 36000 | \$4,115,667 | \$3,741,000 | (\$374,667) | -10.0% | \$3,915,323 | \$3,560,000 |
| | | | 37000 | \$101,352 | \$92,000 | (\$9,352) | -10.2% | \$82,712 | \$76,000 |
| | | | 38000 | \$135 | \$0 | (\$135) | | \$337 | \$0 |
| | Operations | Finance | 31000 | \$2,869,053 | \$0 | (\$2,869,053) | | \$3,089,494 | \$0 |
| | | | 32000 | \$109,724 | \$0 | (\$109,724) | | \$357,677 | \$0 |
| | | | 33000 | \$160,961 | \$0 | (\$160,961) | | \$327,711 | \$0 |
| | | | 34000 | \$183,687 | \$0 | (\$183,687) | | \$174,167 | \$0 |
| | | | 35000 | \$167,439 | \$0 | (\$167,439) | | \$233,189 | \$0 |
| | | | 36000 | \$13,829 | \$0 | (\$13,829) | | \$61,894 | \$0 |
| | | | 37000 | \$1,801,348 | \$0 | (\$1,801,348) | | \$1,726,577 | \$0 |
| | | | 38000 | \$230,636 | \$0 | (\$230,636) | | \$472,882 | \$0 |
| | | | 39000 | \$745,346 | \$0 | (\$745,346) | | \$875,378 | \$0 |
| | HR | | 31000 | \$1,198,010 | \$0 | (\$1,198,010) | | \$1,275,083 | \$0 |
| | | | 32000 | \$471,148 | \$0 | (\$471,148) | | \$506,235 | \$0 |
| | | | 33000 | \$17,579 | \$0 | (\$17,579) | | \$19,402 | \$0 |
| | | | 34000 | \$10,813 | \$0 | (\$10,813) | | \$1,177 | \$0 |
| | | | 35000 | \$27,574 | \$0 | (\$27,574) | | \$49,587 | \$0 |

Period Ending Date (Must be a Month End)
1/31/2017 to 12/31/2017

Version
(Only select one Forecast)
 2017_V0 (Plan)
 2017_V1 (2017.01.26)
 2017_V2 (2017.03.24)
 Current (Actual)

Gross Profit (Actual) \$338,168,240

Gross Profit (Forecast) \$338,160,000

Gross Margin % (Actual) 93.9%

Gross Margin % (Forecast) 93.9%

Operating Income (Actual) \$7,920,629

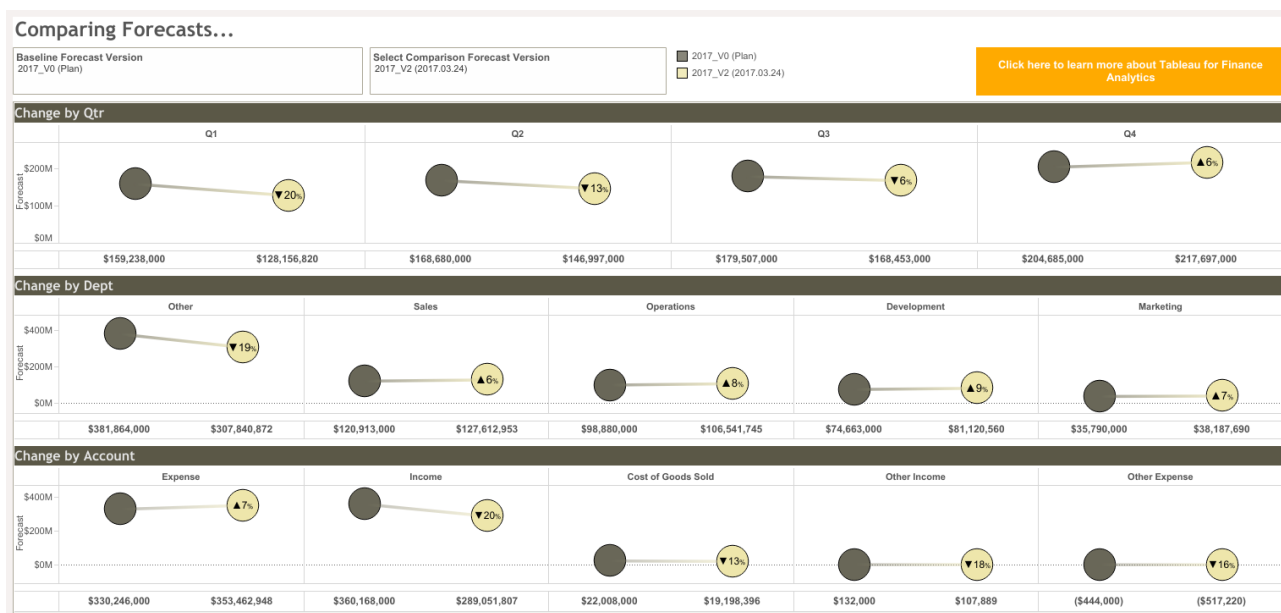
Operating Income (Forecast) \$37,945,000

財務データの準備と検証を継続的に行える仕組みを構築して集計を簡素化する方法の詳細については、[このホワイトペーパー](#)をご覧ください。

3. 財務計画データと実績を1つのビューにまとめる

複雑で時間のかかる手作業が必要であるため、多くの財務部門は、より正確な予測値を得ることに苦労していました。手間のかかるこの作業では、データをさまざまな詳細レベルと繰り返し結びつけて結果値と予測値の差を理解し、個々の財務シナリオで繰り返すことにより継続的に正確性を上げていく必要があります。

予測値がどのように推移しているか理解することが、ますます難しくなる場合があります。そこで、ユーザーが自分で新しい財務計画データセットを追加して、ドロップダウンメニューから選択できるようにすれば、すぐに財務部門は同じ手作業を繰り返し行わなくても済むようになります。また、関係者も予測値の調整を理解しやすくなります。これは新しい値を古い値と比較するだけの問題であり、その例を下の[予測値の比較ダッシュボード](#)に示します。



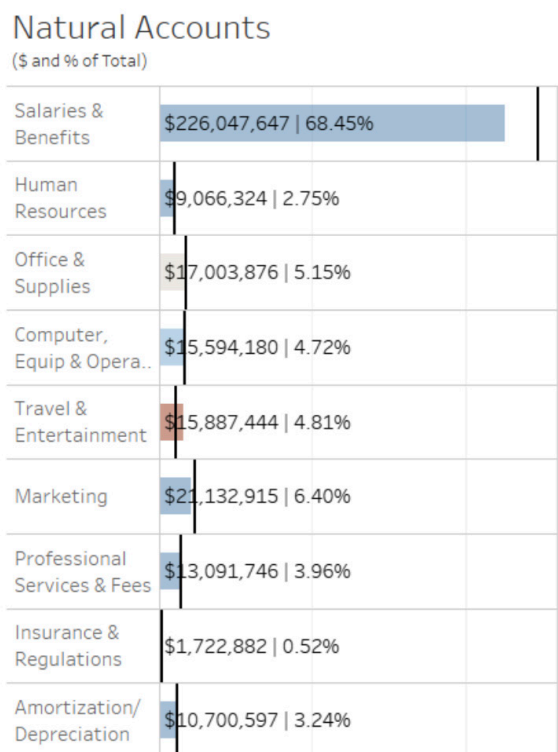
複数の表のデータを組み合わせてクリーニングし、予測のスピードアップと正確性向上を図るには、Tableau Prepの[ワイルドカードユニオン作成に関するリソース](#)をご覧ください。「ザ・プライス・イズ・ライト: 財務データ視覚化の技術」[ウェビナー](#)では、総勘定元帳の実際の値と予測値を Tableau Desktop で組み合わせる方法が詳しく解説されています。また、「[財務データの準備と検証のためのヒント](#)」[ウェビナー](#)でも、Tableau Prep Builder で行う同様のプロセスを見ることができます。

4. 予算、実績、予測値の間の差異を視覚化する

さらに成功するダッシュボードを作成するためには、予算、実績、予測値の間の差異を周到に視覚化するという戦略も役立ちます。単純な計算ではありますが、2つの数値を比較した場合その差異が「3つ目の数値」になるという、対応が難しいビジュアライゼーションの問題が発生します。インサイトに富んだストーリーを伝えるために3つの数値を適切に視覚化することは、それほど簡単ではないためです。

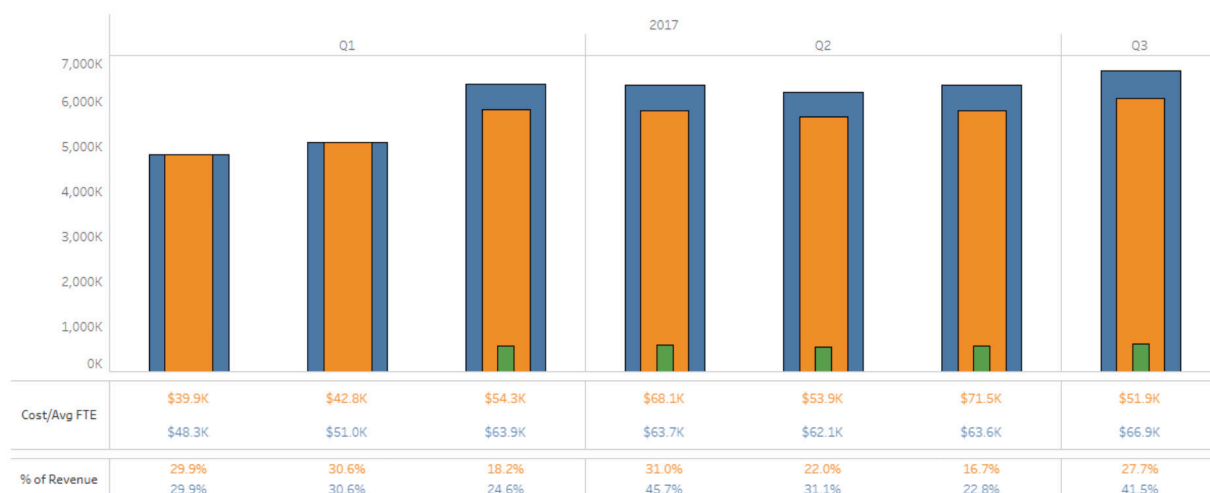
Tableau の財務部門は、最も説得力を持つ方法としてブレットグラフと積み上げない棒グラフの2つが挙げられることを見出しました。積み上げない棒グラフの棒として、またはブレットグラフの棒とリファレンスラインの間の差として差異を視覚的に表すと、どのように違うかが一目瞭然になります。

- 下の**ブレットグラフ**では、予測値 (黒い線) に対する実績 (棒) の状態を見ることができます。棒の色も、現在の勘定残高が予測値を上回っているか下回っているかを示しています。このグラフを使うと、現在は給与手当が総経費の 68.45% を占めており、色からは出張接待費が予測値を超えていることもすぐにわかります。ブレットグラフの詳しい作成方法については、[このヘルプ](#)をご覧ください。



- 下の[積み上げない棒グラフ](#)は、実績や予測値と対比して差異を示します。この視覚化テクニックには、X軸に時間を割り当てて予測の正確性を見ることができるといった利点もあります。まず、[このビデオ](#) (英語) で積み上げない棒グラフの作成方法の概要を学んだ後、[マーク] カードの [サイズ] を使ってグラフを仕上げましょう。

YTD Variance by Period



差異をどのように表すにしても、Tableau の柔軟性を活用すると、チームや関係者に最も理解してもらいやすい視覚化を行えます。データのビジュアライゼーションと分析により財務に関するインサイトを掘り起こす別の方法を求めている場合は、[このウェビナー](#)で財務組織の各職務のための Tableau ダッシュボードについてご覧ください。

5.細かいデータに掘り下げる

Tableau が得意としスプレッドシートでは難しいものの 1 つが、大きなデータセットの利用です。財務部門でスプレッドシートの限界を回避するために使える主な方法には、(1) データの集計と (2) 検証の手段としてのデータサンプリングという 2 つがあります。

残念ながらデータの集計では、結果につながるパターンやトレンドの探索ができなくなる可能性があります。集計は総合的な理解を生み出すのに重要な手法ですが、根底にある細かいデータを利用して背景情報も得られるようにすれば、さらに効果的になります。集計されたデータではほとんどの場合、「昨年の案件規模と割引率の平均は?」というような質問に答えを出すことができますが、「案件規模は割引戦略とどのような関係にあるか?」というような質問に役立つことはほとんどありません。

集計が持つ限界と同様に、サンプリングでもパターンやトレンドを見出す機会を失う結果に終わることがありますが、サンプリングにはデータへの不信感やエラーを招く可能性があるという欠点もあります。

Tableau は、全データを処理し視覚化できるパワフルなデータエンジンを備えているため、集計やサンプリングのこうした落とし穴を避けることができます。この面で Tableau の強みを示す重要な一例が散布図です。下の[平均販売価格ダッシュボード](#)では選択された期間に対し、集計結果でもデータサンプルでもなく Tableau の全取引が表示されています。



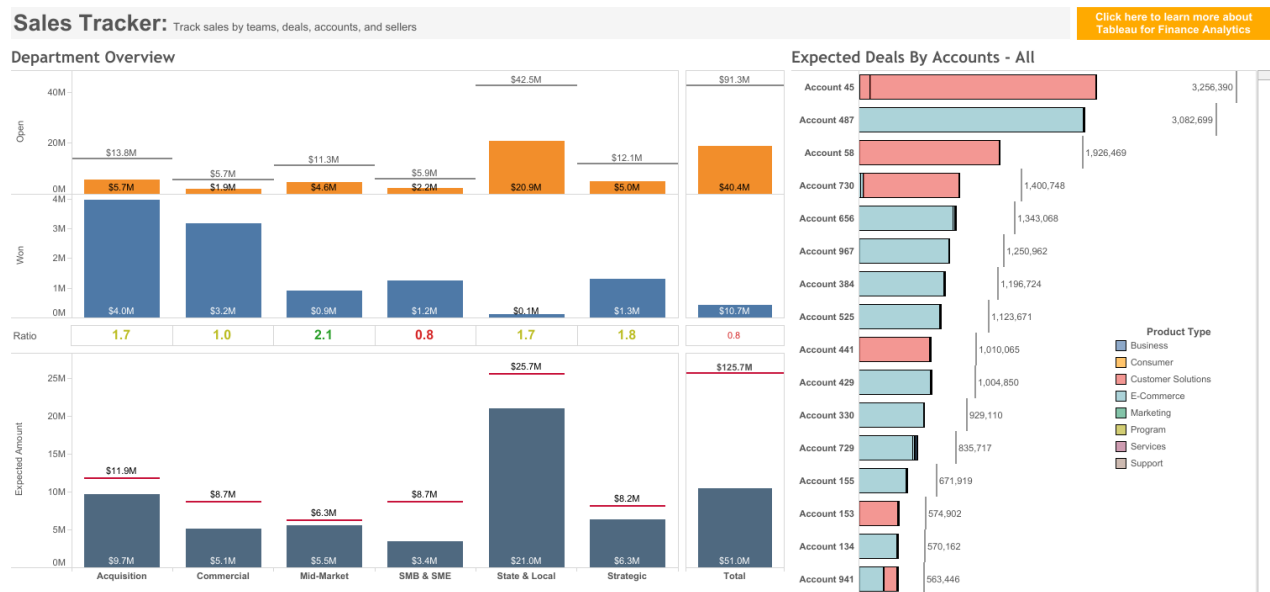
Tableau で散布図を作成する詳しい方法については、[このヘルプ](#)をご覧ください。また、Tableau の財務計画・分析 (FP&A) チームが散布図を使って、どのように[割引のコンプライアンスを分析しているか](#)をこのウェビナーでご覧いただけるほか、[データ分析を使用して不正行為の危険信号を見分ける 4 つの方法を取り上げたこのブログ](#)では、Tableau の監査チームが散布図をどのように使っているかをご紹介します。

6.安全な共有、サブスクリプションやデータドリブンアラートの設定

財務分析でサポートを必要とする数多くの関係者の中には、重責を担い、時間も限られているシニアリーダーも含まれています。シニアリーダーは毎日ダッシュボードを調べることができないため、詳細なデータまでドリルダウンできる、全体像を示したビューでレポートを作成する必要があります。

シニアリーダーにはデータドリブンアラートを積極的に設定して、たとえばある数値が特定のしきい値や信頼区間を下回った場合、大きな契約の締結に関してデータの外れ値がある場合などに通知するようにしましょう。また、ビューのスナップショットを定期的送信するようにシニアリーダーをサブスクライブして、たとえば営業活動のサマリー、部門別の出張費と経費など、そのシニアリーダーにとって最も重要なデータを知らせることもできます。

Tableau の財務分析チームは、下の [営業の追跡](#) のようなダッシュボードでデータドリブンアラートやサブスクリプションを設定して、営業チームのパイプラインのカバー率が特定の範囲を下回っていないかどうかを重役がモニタリングできるようにしています。パイプラインのカバー率があるべき値より低い場合は、営業チームをどのようにサポートできるか、あるいは予測値を下げるためにどのような行動を取れるかを調べることがあります。



ビューへのサブスクライブ方法については[このヘルプ](#)を、またデータドリブンアラートの作成方法については[このヘルプ](#)をご覧ください。

7.コンテンツのブランディングと信頼構築のためのスタイルガイドを作成する

ユーザーが喜んで使うダッシュボードをデザインするうえで重要な点は、見慣れた体裁のレポートを作成することです。それには、一貫性を保ち関係者から信頼を得るためのスタイルガイドや標準的な外観を確立して、検証済みの安全で信頼できる情報源であることを視覚的に示すようにしてください。また、ダッシュボードデザインが一貫していると、ユーザーは重要な機能の場所と内容に慣れるため、ユーザーにとってすぐに理解できる操作しやすいダッシュボードになります。

多くのスタイルガイドは、ルールは柔軟であるべきだという考えの下で作られています。ルールを破るのであれば意図的に行う必要があります。ダッシュボードの適切な作成方法を学ぶための早道は、ワークブックを既定のスタイルで保存することです。また、ワークシートの書式を別のワークシートにコピー & ペーストして、古いプロジェクトをブランド基準に短時間で合わせることが出来る場合もあります。

オリジナルのスタイルガイドを作成するときは、Tableau コミュニティで公開されている下記のものを見て参考にしてください。

| 組織 | ベストプラクティス |
|---------------------------------|---|
| ロチェスター大学 | <ul style="list-style-type: none">ダッシュボードのデータがいつ更新されたかを示すタイムスタンプを標準の位置に配置する「～について」ボタンを設けて、ダッシュボードの目的、説明、さらに詳しい情報を伝えるサーバーにパブリッシュする前に見直すべき項目のチェックリストを作成する |
| BBC | <ul style="list-style-type: none">一般的に使われるボタンには承認済みのアイコンを用意するスタイルがどの程度柔軟なのか、どのような場合にルールを破ってもいいのかを明示するスタイルガイドを Tableau で作成して、サンプルを再利用できるようにする |
| Southern Health | <ul style="list-style-type: none">一貫性と信頼を生み出すためにロゴを使用する使用するカラーパレットを変えてレポートの種類を示す |

さらに詳しくは、Tableau の Rafi Zelikowsky がコーポレートデザイン標準の導入について語った、[このプレゼンテーション](#) (英語) をご覧ください。また、ヘルプ「[ワークシートレベルで書式設定](#)」では、ビジュアライゼーションの書式設定の方法と、書式を他のワークシートにコピー & ペーストする方法が説明されています。

これらの不可欠なダッシュボード戦略を取り入れると、組織全体の人々が重要な意思決定の材料として用いる、信頼できる使いやすいダッシュボードが作成されるようになるでしょう。優れたデザインの財務ダッシュボードを提供することにより、関係者は Tableau で、そしてそれぞれの職務で成功を収め、会社の全体的な成功に貢献できるようになります。

財務や分析に携わる人々から、ダッシュボードのベストプラクティスについて話を聞く機会を求めている場合は、[Tableau 財務部門コミュニティのユーザーグループ](#)にご参加ください。コミュニティと情報交換し、エキスパートのゲストから話を聞くことができます。

Tableau について

Tableau は、情報から意味を引き出す手助けをします。分析のサイクルをサポートし、ビジュアルなフィードバックを提供し、複雑さの高度化にもかかわらず質問の答えを導き出せる分析プラットフォームです。データの力によるイノベーションを望むなら、新しい質問を問いかけたリパースペクティブを変えるために探索を継続させるアプリケーションが必要です。インパクトを生み出すデータを活用したいとお考えの方は、今すぐ Tableau Desktop の[無料トライアル版](#)をダウンロードしてください。

財務チームの分析をさらに成熟させるために役立つその他のリソースです。日々の作業とデジタル変革の両方をサポートします。

その他のリソース

[Tableau 財務分析ソリューションページ](#)

[迅速で柔軟な分析に関するウェビナーシリーズ](#)

[財務分析の基本に関するウェビナーシリーズ](#)

サンプルダッシュボード: [Tableau Public](#)

無料トライアル版のダウンロード: [Tableau Desktop](#)

無料トライアル版のダウンロード: [Tableau Prep](#)

